

平成二十一年第四回定例道議会

予算特別委員会知事総括質疑疑骨子

一、政権交代と知事公約

国の政策転換により、道政運営にも影響があり、知事公約についても、見直し、検討し道民に示す必要がある。

二、市町村財政

早期健全化団体の増加、行政サービスの拡大から、地方財政措置の充実を求める。夕張市の再生は、道・国一体的取り組みが必要。

三、分権推進委員会の勧告

国の「地域主権型国家」実現に向けた、自治財政権の強化による地方交付税の総額の拡大を求める。

四、支庁制度

道と市町村の公開の協議の場で、地域主権型社会の実現に努める。

五、道財政

これまでの地方交付税が実質補助金化している状況から、地方の自由度を高め抜本的見直しを求める。

六、緊急雇用対策

北海道雇用創出推進会議「で労働者の安全や賃金の改善対策に加えて、公契約条例制定に向けた検討が必要。

七、道組織の見直し

若年層・技術職の採用を拡大する。



地域での新米試食会盛況でした



新年度予算への政策懇談会



各地域・団体から予算要望を受ける



期待してます！木村さん  
農林水産大臣政務官 衆議院議員 佐々木隆博



「医食農源」 昨年は、第四五回衆議院総選挙が行われ、憲政史上初めて選挙による「政権交代」を現実のものとなりました。私は「農林水産大臣政務官」を拝命し、この国の農林水産業

と農山漁村の元気づくりに全力で取り組みます。一〇年度からモデル事業として「戸別所得補償制度」をスタートさせることとしました。私の政治の原点である「現場の声」「生活第一」「ふるさとの元気」を実現するため全力で頑張ります。ふるさとの「食材」が健全でなければ、日本（人間）の「健康」を創ることはできません。新年も、木村道議と共に頑張ります。皆様にとつてよりよい年でありまよう祈念いたします。

今後の主な議会日程 予定

- ◎一斉委員会 一月五～六日 ◎自治のかたちづくりPT役員会 一月五日 ◎地方分権改革委員会 榎山管内調査 一月二〇～二二日 ◎民主党北海道大会 一月二三日 ◎道当初予算折衝 一月中下旬
- ◎一斉委員会 二月二～三日 ◎道政新春報告会 二月一九日 ◎平成二十二年度第一回定例議会 二月二三日～三月二四日

採択された主な意見書

- ◎経済・金融不安から国民生活を守る
- ◎「新過疎法」の制定促進
- ◎農山漁村の多面的機能の維持・促進
- ◎食料自給率向上・北海道農業の持続